

支援プログラム

事業所名	株式会社翔陽会（児童発達支援・放課後等デイサービス）ドレミファデイサービス・福祉施設いろいろ		作成日	令和 6 年 12 月 20 日
法人理念	一人ひとりみんな違う。好きなことも苦手なことも、目標も。一人ひとりを見つめ、一緒に頑張ったり、寄り添ったり、少し離れたところから見守るだけのこともあります。あたたかい陽差しの下のような安心できる居場所を作りたい、それが翔陽会の願いです。			
支援方針	住み慣れた地域で、自立した生活ができるように、一緒に努力させていただきます。 日常生活を営むことが出来るよう、意志及び人格を尊重し、身体その他の状況及び環境に応じ家事生活等に関する相談及び助言、並びに外出時における支援、その他生活全般にわたる援助を目的とするサービスを提供いたします。当事業所スタッフの経験を活かし、利用者の方の能力向上や家族・保護者の方々からの相談に細やかな対応を致します。地域の方々と共に安全で安心な環境作りに努めてまいります。			
営業時間	9 時 00 分 ~ 18 時 00 分	送迎の有無	あり	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すこと、病気の予防や安全への配慮を前提に健康状態のチェックと必要な対応を行います。意思表示が困難である子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行います。健康な生活の基本となる食について楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行います。身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します。 生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるよう環境を整え、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく設定します。		
	運動・感覚	姿勢保持や自力での身体移動・歩行など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行います。視覚、聴覚、触覚等の感覚を遊び等を通して支援します。保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう眼鏡や補聴器等の各種の補助機器を活用できるよう支援します。感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。		
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促します。環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援します。物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行います。自分に入ってくる情報を理解できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮します。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います。		
	言語・コミュニケーション	具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、言語の習得・自発的な発声を促すよう支援します。話し言葉や文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行います。人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択・活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。		
	人間関係・社会性	身近な人と親密な関係を築き、周囲の人と安定した関係を形成するために、遊び等を通じて、社会性や対人関係を支援します。見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、社会性の発達を支援します。周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、職員も一緒に行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、社会性の発達を支援します。自分のできること・できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援します。集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援します。		
家族支援	家族が安心して子育てを行うことができるよう、両親や兄弟姉妹、祖父母など、家族全体を支援していく観点から、さまざまな家族の負担を軽減していくための物理的及び心理的支援等を随時、相談を受け行います。	移行支援	可能な限り、地域の保育、教育等の支援を受けられるようしていくとともに、同年代の子どもとの仲間作りを図っていきます。障害のある子どもの発達の状況や 家	
地域支援・地域連携	他通所支援事業所との情報交換を行います。 自立支援協議会への参画を通して地域連携に努めます。	職員の質の向上	気づきやアイデアをミーティングや支援会議などを通してPDCAサイクルを回しながら、実際の支援に生かしていきます。外部研修への参加と内部伝達や各種委員会の活性化を図ります。	
主な行事等	季節を感じられる活動の行事やイベントへの参加 公園や近隣散歩・おでかけ 簡単な調理実習 ご家族との交流クリスマス会			